

2016年9月9日

メカトロニクス制御技術委員会(MEC)

第14回メカトロニクス制御技術委員会 議事録(案)

【日時】：2016年9月6日(火曜日)14:00～17:10

【会場】：芝浦工業大学 芝浦キャンパス 6階 608室
〒108-8548 東京都港区芝浦 3-9-14

【出席者】：

委員長：岩崎 誠(名工大)

一号委員：熱海武憲(千葉工大), 池田英俊(三菱電機), 梅村敦史(北見工大), 桂 誠一郎(慶應大), 島田 明(芝浦工大), 高橋太郎(トヨタ), 辻 俊明(埼玉大), 滑川 徹(慶應大), 平田光男(宇都宮大), 藤本博志(東大), 柳原徳久(日立産機), 山口高司(リコー), 涌井伸二(農工大)

二号委員：伊藤和晃(豊田高専), 内村 裕(芝浦工大), 弓場井一裕(三重大)

幹 事：関 健太(名工大), 名取賢二(千葉大)

幹事補佐：横倉勇希(長岡技科大)

オブザーバ：南方英明(千葉工大)

【配布資料】：

14-1 第13回議事録

~~14-2-1 メカトロニクス制御技術委員会名簿(名取)~~

~~14-2-2 メカトロニクス制御技術委員会メンバーリスト(名取)~~

14-3 論文・部門大会の価値向上に向けての取り組み状況(情報共有)

14-4-1 平成29年全国大会・部門大会シンポジウム提案のお願い (e-メール)

14-4-2 平成29年電気学会全国大会シンポジウム (案) 提案用紙

14-5 部門HPに掲載する"注目論文"選定のお願い

14-6-1 部門積立金に関する役員会申し合わせ(案)

14-6-2 部門積立金に関する役員会申し合わせ(改正案)

14-7-1 精密サーボシステムの多様性探求調査専門委員会活動報告(伊藤)

14-7-2 実世界ハプティクスの高度化に関する協同研究委員会活動報告(内村)

14-7-3 モーションコントロールの高機能化に関する協同研究委員会活動報告(弓場井)

14-8 第59回自動制御連合講演会タイムテーブル(島田)

【議事】

1. 前回議事録(案)の確認 資料 14-1

前回の委員会の議事録の確認が行われ、承認された。また、前回議論した優秀論文発表賞推薦のための採点に関する以下の点について確認した。

- 審査シートの変更については 9/3 開催の研究会より実施した旨報告があった。**点数が同一の場合の選定方法については、案を考え ML で議論することとした。**
(担当：名取幹事)
- **SAMCON での発表件数を A 賞や部門表彰のカウントにいれてもらうことについて研究調査運営委員長に意見を求めることとした。また、研究会を共催すると件数がダブルカウントされる件についても見直しを含めて意見を伺う。**(担当：伊藤委員)
- 次回の SAMCON 実行委員会において、Best Paper Award (Session Award ではない)を作ったらどうかを提案する。
- **前回決定したように、優秀論文発表賞(内規)において幹事も審査員とする修正を施す必要がある。**(担当：名取幹事)

2. 名簿およびメーリングリストの確認 資料 14-2

名簿およびメーリングリストについては、次回以降、もしくは必要であれば ML で確認を行うこととした。

3. 論文・部門大会の価値向上に向けての取り組み状況について 資料 14-3

3.1 論文誌の質の向上に関する意見について

メカトロニクス制御技術委員会として賛同することが確認された。加えて次の意見が出された。SCI 登録に向けて、SAMCON、IPEC の論文を共通英文論文誌に投稿して頂き、D 部門英文論文誌の論文の引用を促す。同時に共通英文論文誌と D 英文論文誌への論文投稿の振り分け・誘導についても戦略的に考えていく必要がある。また、著名な方に論文投稿して頂くという従来からの意見も確認された。

3.2 部門大会・全国大会の活性化に関する意見について

部門大会・全国大会の活性化について以下の議論が行われた。

- ・自動車関係の研究発表を実施できれば参加者の増加が見込まれるが、発表者を募るのが困難となることが予想される。
- ・優秀な学生ほど学会活動が盛んな企業を選ぶため、企業ごとの発表件数を公表する意見が出されたが、企業の経営的事情や部署ごとの事情によって状況が変化するため効果的とはいえない可能性がある。
- ・部門大会・全国大会を学生と企業との接点を増やす場として利用して頂く意見も出され、議論が行われた。具体的には、企業セミナー、リクルート活動、会社説明会の開催が挙げられる。モーションコントロールの関連企業の取り組みを発表するセッションの企画につ

いての意見が出されたが、論文を書くとなると企業の参加は難しいため、さらなる議論が必要である。メカトロ道場との連動や企業展示ブースの強化などの意見も出された。他の学会においては、学生が企業の人と話せる場を公式に設けていたり、業界研究についてのセッションが開催されていたりするという情報提供があった。

4. 部門大会・全国大会におけるシンポジウムについて 資料 14-4-1,2

実世界ハプティクスの高度化に関する協同研究委員会は全国大会において、モーションコントロールの高機能化に関する協同研究委員会は部門大会においてシンポジウムを開催することとなった。また、成果報告としてのシンポジウムが解散から半年程度たってからでも問題ないこと、次期委員会がその期間中に設立されても問題ないことを確認した。さらに、協同研究委員会においては、設置趣意書に記載の通りシンポジウムを実施すれば技術報告の提出は必須ではないことが確認された。

以下のシンポジウム関連の必要書類は 9/23 までに研究調査運営委員会への提出が必要であり、名取幹事が集約して桂委員に提案用紙を送付することが確認された。

⇒ 平成 29 年電気学会全国大会シンポジウム(案)提案用紙(資料 14-4-2)に必要事項を記入し名取幹事まで送付いただく。(担当：内村委員)

⇒ 資料 14-4-2 を参考に、部門大会シンポジウム提案の素案を名取幹事まで送付いただく。(担当：弓場井委員)

5. 部門ホームページに掲載する「注目論文」について 資料 14-5

各技術委員会から注目論文を選定する必要があることが名取幹事より説明された。D 部門和文論文誌と D 部門英文論文誌から合計 3 本選び、それぞれに対して回答フォームに記入して提出する。ただし、和文誌は 2005 年以前のもものを選択する必要がある。一方で英文論文誌は最新のものでも良いことが確認された。メカトロニクス制御技術委員会傘下の 3 委員会の委員長が 1 本ずつ選定することとなった。回答フォームの提出締め切りは 9/23 である。

⇒ 注目論文の回答フォームに必要事項を記入し、名取幹事まで送付いただく。

(担当：伊藤委員、内村委員、弓場井委員)

6. 部門積立金に関する申し合わせについて 資料 14-6-1,2

名取幹事より部門積立金の改正案についての説明が行われ、内容について確認を行った。メカトロニクス制御技術委員会では、産業応用フォーラムは実施しないためそれによる収入がないことが確認された。

7. 1 号委員の任期調査について

メカトロニクス制御技術委員会においては任期 6 年を超過する委員がいないことが確認された。

8. 自動制御連合講演会について

島田委員から第 59 回自動制御連合講演会開催についての説明が行われた。開催会場は北九州国際会議場であり、MEC と IIC からオーガナイズドセッション「モーションコントロール」を提案し、実施する予定である。本セッションへの応募件数は 16 件となっていることが報告された。また、自動制御連合講演会は IFAC(国際自動制御連盟)分科会の下部組織となったことも報告された。

9. 傘下委員会からの活動報告

9.1 精密サーボシステムの多様性探求(調)委員会 資料 14-7-1

- ・第 8 回委員会が平成 28 年 6 月 2 日(木)に東京大学柏キャンパスで行われ、2 件の話題提供があった。
- ・シンポジウムが平成 28 年電気学会産業応用部門大会(群馬大学)で開催され、5 件の発表があった。
- ・IECON2016-Firenze において Special Session を 1 件提案済みである。
- ・電気学会誌での特集企画の原稿を執筆中である。
- ・メカトロニクス制御研究会を平成 28 年 9 月 29 日(木)に電気学会会議室にて開催予定であり、9 件の発表が予定されている。
- ・第 9 回委員会を研究会のお昼休みに開催予定である。
- ・10 月中に第 10 回委員会を開催し、10 月末で委員会を解散する予定である。

9.2 実世界ハプティクスの高度化(協)委員会 資料 14-7-2

- ・第 8 回委員会が平成 28 年 9 月 2 日(金)に塚越屋七兵衛 会議室にて開催され、2 件の講演が行われた。
- ・第 9 回委員会が平成 29 年 9 月 3 日に芝浦工業大学豊洲キャンパス 401 教室で行われ、活動実績、活動予定、全国大会シンポジウムの開催について議論された。
- ・AMC2016 において SS を 2 セッション行った。

SS1: Real World Haptics Based on Control Technology

SS3: Network-Based Control Systems and its Applications

- ・ISIE2016 において SS を 1 件行った。

Haptics and Force Control Based on Advanced Sensors and Actuators

- ・メカトロニクス制御研究会を平成 28 年 9 月 3 日(土)に芝浦工業大学豊洲キャンパスにて開催し、発表件数は 16 件であった。
- ・シンポジウムを電気学会全国大会(富山)にて開催する予定である。
- ・第 10 回委員会を開催する予定である。

9.3. モーションコントロールの高機能化に関する(協)委員会 資料 14-7-3

- ・第 8 回委員会を平成 28 年 11 月頃に開催し次年度の部門大会シンポジウムの企画をする予定である。

- ・第9回委員会は平成28年12月11日に芝浦工業大学芝浦キャンパス3階301号室で行う予定である。
- ・研究会を平成28年12月11日に芝浦工業大学芝浦キャンパス3階301号室にて開催する予定である。
- ・第59回自動制御連合講演会でのオーガナイズドセッション「モーションコントロール」を企画し実施予定であり、論文投稿は16件となっている。

10. その他諸連絡

平成29年3月から、すべての傘下委員会が解散となり、委員会の数が零となる期間が生じる可能性がある。技術委員会の活動に支障が出ることを考えられるため、今後は、目安としてハプティクス委員会は3月のSAMCON、精密サーボ委員会は5月、モーション委員会は8月頃から新委員会を開始できるよう準備を進めていただきたいとのお願いがあった。

以上